



豊夢富育

第 2 号
令和 6 年 12 月 19 日 (木)
＝ 発 行 ＝
北海道豊富高等学校
P T A 広報部

豊富高校ホームページ URL: <http://www.toyotomi.hokkaido-c.ed.jp/>

2 学年 見学旅行

- 1 日目 移動、京都金閣寺
- 2 日目 京都・大阪自主研修
- 3 日目 清水寺・奈良公園・薬師寺
- 4 日目 USJ 自主研修
- 5 日目 伊丹空港発豊富着



1 日目



新千歳空港



金閣寺

2 日目



奈良公園



京都・大阪自主研修



3 日目



清水寺



ユニバーサル・スタジオ・ジャパン自主研修



帰りの飛行機



5 日目



帰りのバス



4 日目

「スクール・ミッションとスクール・ポリシーの見直し」

教育に関する専門用語が多くなることをあらかじめお断りします。

本校の学校教育目標は「たくましく生き抜く人 たえず学び続ける人 とともに助け合う人」です。私がこれまで勤務した高校の中で、最もわかりやすい教育目標だと思います。しかし、一部の高校の教育目標は、抽象的でわかりにくいと指摘されていたこともあり、各高校の社会的役割（スクール・ミッション）を再定義するよう、国は関係する法令・規則を改正しました。スクール・ミッションは高校の設置者（本校は北海道教育委員会）が地域の実情や生徒の状況等を踏まえて再定義するのですが、道立高校 190 校すべての実情や状況を踏まえた再定義は大変なので、各高校において道教委が提示した汎用性のあるスクール・ミッションから 1～2 項目を選び、報告したうえで道教委が再定義することとなっています。なお、高校独自のものを報告することも可能です。本校では 6 月から検討・議論をおこない、P T A 役員や学校運営協議会委員から意見をいただき、次の 3 項目を報告しました。

- 1 地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 2 I C T 等を活用した遠隔授業や個に応じた指導を通じて、自ら学習意欲や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成
- 3 自立の精神にあふれ、自らの夢に向かって行動していくとともに、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う生徒の育成

学校ホームページに掲載している現行のものと見比べていただければと思いますが、1 と 2 は現行と同じものを道教委の提示から選択し、3 は「夢に向かって行動する」「ふるさとへの誇りと愛着を持つ」「共に支え合う」をキーワードとした独自のものとしました。早ければ年内には、北海道教育委員会からの通知があると思いますので、決定しましたらお知らせします。

また、育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）についても、現行のものは 12 項目もあり多いことと、どのような力なのかの具体的な説明がなかったことを理由に、次のように見直しました。

- 基礎力** … 社会で求められる一般常識や教養を身につけ、それを生かすことができる力
- 論理力** … 物事の意味を状況に合わせて理解し、筋道を明確にして思考・表現する力
- 対応力** … 変化の激しい時代でも何事にも対応できる力
- 協働力** … 様々な考え方や価値観を受け入れ、周りの人と協力して物事を進めることができる力
- 行動力** … 自らの夢に向かって、行動していく力
- 精神力** … 粘り強く取り組み、自分らしく生きる力

先生方はもちろん、生徒も日ごろから意識できるようシンプルに 6 項目にし、具体的な説明も加えました。新たに策定した資質・能力が、生徒にとっては身に付けることが高校生活の目標のひとつとなるよう、先生方にとっては育成することが日々の教育活動の最終的な目標となるよう、本校の教育活動を進めてまいります。これからも、ご理解、ご協力をお願いします。

令和 6 年度 新生徒会執行部

会 長	岳 上	元 (2A)		
副 会 長	近 藤	萌 (2A)		
会 計	藤 元	結 (2A)	野 沢	礼 希 (2A)
書 記	千 葉	煌 太 (1A)	山 木	悠 月 (1A)

新しく生徒会長になりました岳上元です。

これから 1 年間豊高を盛り上げられるように全力で頑張ります！

生徒会長 岳 上 元



一日防災学校

10 月 3 日、一日防災学校を行いました。避難訓練では地震発生後に校内で火災が発生したとの想定で体育館に避難しました。このほか、豊富町役場危機対策係と豊富消防のみなさまの協力をいただき、避難所運営ゲーム『Do はぐ』体験、段ボールベッド組み立て体験、災害用テント設営体験、要救助者搬送体験を行いました。豊富町にはサロベツ断層帯があり、マグニチュード 7.6 程度の地震が発生する可能性がある地域です。まずは自分の身を守り、落ち着いたら避難所等の運営協力ができるよう、様々な体験をしておくことが大切であると理解できました。



きもの授業

7月19日1学年家庭基礎の授業で「きもの授業」を行いました。浴衣の着付けを体験し、日本の文化に触れる、良い機会となりました。



高校生議会

9月20日、3年生が本物の議会さながらの答弁を体験させていただきました。公民科「北海道探究」の授業の一環で実施されているこの授業は生徒一人一人の地域への理解を深め、公民的資質能力をつけることを目的として豊富町役場、豊富町議会の全面的なサポートを受け実現しています。



現在、豊富町では、まちの計画の一環として「若者を町に呼び込む」ということを目的とした事業が進められていると思います。そこで、私たちは、事業の一つとして、豊富高校の中で酪農の事について学べる学科があったらいいのではないかと考えました。この意見について、町長、教育長としての見解をお聞かせください。

【1班】石成北岳
青野珠里
小倉桃
小松歌凜

交差点で待っている際、大型自動車が危険だと思います。以前、郵便局前の交差点に設置されたガードレールのおかげでその交差点を安心して利用できるようになったので、元石川商店前にもガードレールを設置してもらえるように要請してほしいです。



【2班】室山媛華
朝日せりな
近藤結莉
増田乃子



【議長】松田 未羽

大通りの街灯（歩道側のガラス）が割れて落ちたとお聞きしました。今回は負傷者がでませんでしたが、もしかしたら今後、負傷者がでてもうかもしれません。町民が安全に歩道を歩けるように街灯の整備をする必要があると思います。



【3班】安藤優希
小野寺咲果
竹中瑠唯
竹中瑠花

豊富町の下にはサロベツ断層があり、いつ災害が起こってもおかしくありません。そこでフェーズフリーに対応した遊具の設置を提案します。フェーズフリーとは、平常時、非常時間問わず利用できることを意味します。具体例として防災シェルターや貯水槽などと考えますが、いかがでしょうか。



【4班】阿部望々羽
菊地幸三
佐々木瑠夏
佐藤琉太
松田琉美

カーリング授業

10月8日に稚内みどりスポーツパークでカーリング授業を行いました。全学年で実施し、笑顔で楽しみながらウインタースポーツをプレーしている姿が見られました。



9月27日に体育大会が行われました。競技はバスケットボール、バレーボール、借り物競争、パン食い競争もどきを行い、全学年を4つの組に分け、学年を超えた交流ができました。

体育大会

